

平成23年4～5月号(第8号)

アトリエかわら版

特別養護老人ホーム アトリエ村 長崎4-23-1 5965-3400 発行責任者 岡安喜久夫

はじめに

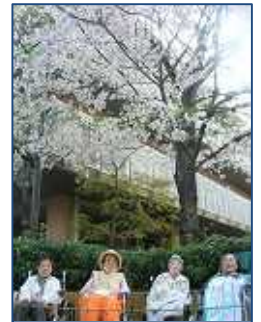
去る3月11日に発生した「東北地方太平洋沖地震」により被災された皆様に対しお見舞い申し上げます。さて、今号では春の行事や震災に関連する情報をお届けします。



お花見 4月上旬～中旬

春と言えばお花見。4月上旬から中旬にかけ、桜の開花に合わせてお花見が行われました。去年と比べると気候も安定し、お花見日和が続き多くのご利用者が参加されました。

近くの公園や緑道、施設周辺など近隣に外出し、満開の桜の花やその他春の草花も観賞されました。「暖かくて気持ちがいいわ」「(桜が)キレイね」等、ご利用者の皆さんに笑顔があふれとても好評でした。



端午の節句 5月1日(日)他

大きな鯉のぼりが各フロアに飾られると、端午の節句も近づきます。今年は1日に音楽クラブが行われ、節句にちなんだ歌を一緒に歌いました。そして

節句当日の5日は、お昼には穴子ちらし、おやつには練りきりを提供し、みなさん美味しく召し上がりました。3日と5日のお風呂は菖蒲湯で、菖蒲の良い香りが浴室いっぱいに広がり、実際に手で触れて楽しみました。



お買い物サロン 3月20日(日)



衣類を中心に小物や雑貨、介護グッズなど日常必要とされる商品を買えるお買い物サロンが行われました。施設の一室にて商品がディスプレイされ、昔懐かしい音楽が流れ、専門の販売員がご案内して、まるで本当のお店に来たかのような雰囲気でした。みなさん笑顔でお買い物を楽しまれていました。

施設長よりご挨拶

このたび、岡本千鶴子施設長が本年3月で退任され、新たに施設長に就任いたしました岡安喜久夫でございます。

東日本大震災では、たくさんの方々が被災され厳しい生活を送られております。そうした中、義援金をお願いしたところ大変多くの皆様からご寄付をいただき、日赤にお送りさせていただきました。誠にありがとうございました。みんなで助け合う精神はまだまだ多くの方々の心に生き続けていると感じた次第です。

アトリエ村もご家族や地域の皆様の温かいご支援によりスムーズな運営がなされております。

今後も「真心と思いやりの花咲くアトリエに」の標語のもとに、さらに安全・安心した施設の運営に努めてまいりますのでよろしくお願いいたします。

以下は東日本大震災に関連する情報です。

東日本大震災義援金のご報告

4月20日までの義援金について、

事務室カウンター、在宅サービスセンターでの募金71,910円につきましては、日本赤十字社を通じて被災地への見舞金等として使用していただきます。

職員による募金54,391円につきましては、東京都社会福祉協議会を通じて被災した福祉施設等へ送られ、必要物品の購入や見舞金等として使用していただきます。

4月21日付で送金させていただきました。皆様のご協力ありがとうございました。



被災地への衣類寄付

昨年ご家族の皆様へお知らせしました“名前無し衣類”については、この度社団法人日本リ・ファッション協会を通じて、東日本大震災の被災地へダンボール3箱分を救援物資として寄付いたしました。また被災地へ送れない中古肌着等(段ボール1箱分)も当協会の通常回収へ送付しましたことをご報告申し上げます。なお衣類の仕分け・箱詰めにはボランティアの方3名のご協力をいただきました。

バザーの収益金についてのご報告

昨年11月に行われましたバザーの収益金260,498円のうち、諸経費を差し引いた金額から100,000円を被災地への義援金として日本赤十字社へ送金、100,000円を「ふれあい給食」の経費として使用させていただきます。

「ふれあい給食」とは、地域の高齢者を対象にした、アトリエ村独自の介護予防事業です。

お誕生日おめでとうございます(4月・5月)

佐伯様 下坂様 大澤様
安部様 山口(ち)様 桜井様

ようこそアトリエ村へ

春山様 本間様 稲次様

新しいスタッフの紹介

- ・塚田 ケアワーカー
- ・島 ケアワーカー
- ・松田 ケアワーカー
- ・御澤 ケアワーカー



皆さんどうぞよろしくお願いいたします。

お悔やみ申し上げます

阿部様 福嶋様 田島様
高草様 金野様 高山様

編集後記

新年度の『アトリエかわら版』を無事に発行することができました。東日本大震災の影響もまだまだ続いておりますが、職員一同ご利用者の皆様が安心・安全な生活を送ることができるようケアに努めてまいります。

【広報担当：森田 江野 畠中 菊地】